

令和4年度契約監視委員会（第1回）議事要旨

1. 日時 令和4年6月16日（木）14：30～16：30
2. 場所 大学改革支援・学位授与機構 小平本館208会議室
3. 出席者
（委員）草加委員長、小笠原委員、柴委員
（事務局）管理部長、会計課長、会計課契約係長、会計課資産管理係長、
総務課情報企画支援室情報戦略係長、
総務課情報企画支援室情報戦略係主任、
大学ポータルセンター事務室長補佐、
大学ポータルセンター事務室大学情報システム係長、
監査室長、監査係長
4. 議事
議事に先立ち、令和3年度第2回の議事要旨（案）が確認され、了承された。
 - （1）令和4年3月分までの契約について
前回点検後の令和3年10月から令和4年3月の間で契約を締結したものから、一者応札・応募となったものについて点検を行った。

※質疑の概要については、【別紙】参照。
 - （2）令和3年度調達等合理化計画の実施状況に係る自己評価（案）の点検について
「令和3年度調達等合理化計画の実施状況に係る自己評価（案）」の審議を行った。
審議の結果、以下の意見を踏まえた修正は、委員長に一任することを前提に了承された。
資料5-1における表「令和3年度契約状況及び一者応札・応募状況の前年度比較」について、一者応札の金額及び件数の増加要因が、当機構の手続き上の瑕疵によるものではなく、システム関連の調達が過半数以上を占めていたことや履行リスクなどの外的要因によるものであることを注釈等で明記したほうがよい。
 - （3）令和4年度調達等合理化計画の策定（案）の点検について
「令和4年度調達等合理化計画の策定（案）」について審議を行った。審議の結果、原案のとおり了承された。なお、主な意見は以下のとおり。
他機関が公開している調達情報等から、競争性確保の取組やその効果を収集・分析し、今後の参考とされたい。

(4) その他

次回の契約監視委員会は、今回点検した以降の契約について、契約の適正性、妥当性の検証を行うこととし、令和4年11月～令和5年3月頃を実施することが確認された。

以上

質疑概要

○令和4年3月分までの契約について

一者応札・応募となった契約の点検 [5件]

- ・『令和4年度大学ポータルシステム運用・保守業務 一式』
- ・『基幹システムハードウェア保守業務 一式』
- ・『コア・サーバスイッチ 一式』
- ・『独立行政法人大学改革支援・学位授与機構における財産保険』
- ・『大学改革支援・学位授与機構（小平）本館 太陽光発電設備（パワーコンディショナ）更新工事』

確認事項・意見	回答
<p>「令和4年度大学ポータルシステム運用・保守業務 一式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じ業者が請け負っているのか。 ・SEが当機構に常駐しているのか。 ・障害発生時の問い合わせは年間でのどの程度あるか。また、構築当時に比べて問い合わせ件数の増減はどうか。 ・一般的にシステムの構築業者が保守業務を請け負うことが多いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本システムを構築した業者が引き続き運用・保守を行っている。 ・常駐はしていない。本システムはクラウド環境にあるため、問い合わせや依頼事項は電話、メール等での対応である。 ・年度によって増減はあるが、約100件程度であり、工数とも見合っている。システムが安定するにつれ、件数は減少傾向にある。 ・本システムは汎用的ではないため、構築業者が有利な部分は多いと思われる。
<p>「基幹システムハードウェア保守業務 一式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汎用的なシステムが多く、業者が入札に参加しやすいと考えられるが、一者応札となった理由として考えられることは何か。 ・工数に増減はあるか。 ・問い合わせ実績は、工数に反映されているか。 ・障害発生時の問い合わせの中で業者の対応に時間がかかっている事案もあるが理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なメーカーのシステムの集合体を全て保守できる業者でなければならないため特殊性があったと考えている。 ・システムの構成機器が前年より増えていることに伴い、工数も多少増加している。 ・実績をまとめた資料を配付しているため、入札参加者が工数を積算することは可能である。 ・機器内部のソフトウェアの不具合等に関してはメーカー側からの修正パッチ発行により、多少時間がかかる場合もある。

確認事項・意見	回答
<p>「コア・サーバスイッチ一式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書で示す技術的な資格は、必須要件か。 ・入札公告期間を他の調達より長めに設定した理由は何か。 ・毎年調達を行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱う情報の内容や重要な情報機器の導入であることを鑑み、必要な要件であると認識している。 ・情報セキュリティの重要性から、必要な手続きを採っているため期間を長く設定している。 ・システムの更新であるため毎年行っているものではない。ライフサイクルの目安は5年であるが、前回導入した機器の完成度も高く、メーカーサポートも長期間であったため、前回の調達から10年近く経過している。
<p>「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構における財産保険」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調達内容から入札参加者は複数あってもよさそうだが、案件によって周知方法を工夫してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公平性の観点に留意しつつ、案件毎に周知方法について検討を行い、工夫を凝らせるように取り組んで参りたい
<p>「大学改革支援・学位授与機構（小平）本館 太陽光発電設備（パワーコンディショナ）更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネルの更新は必要ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数が長いため、今回更新の必要はない。次回の更新はその時の状況による。